ガス給湯機能付ふろがま
取扱説明書 31-010型（右水管タイプ） 31-011型（左水管タイプ）

保証書付

ガス器具をお使いになるときのご注意

ガスゴム管も ときどき点検 よいゴム管を カッチリと

ガス器具を お使いになった あとは必ず もとせんも閉 める習慣を

お風呂の空だき 水もれ、沸かしすぎ にご注意

ガス器具は ガスの種類にあった 正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯機能付ふろがまをお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

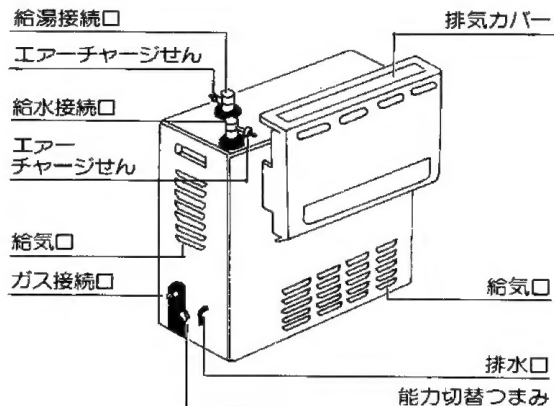
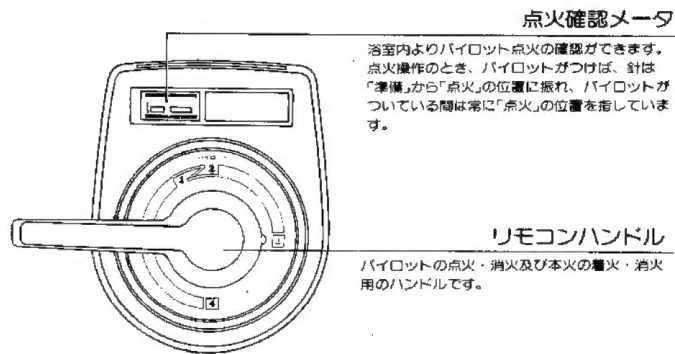
各部の名称

● 遠隔操作部の名称

点火確認メータ

浴室内よりパイロット点火の確認ができます。点火操作のとき、パイロットがつけば、針は「準備」から「点火」の位置に振れ、パイロットがついている間は常に「点火」の位置を指しています。

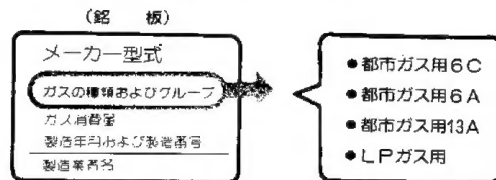
リモコンハンドル

パイロットの点火・消火及び本火の着火・消火用のハンドルです。

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

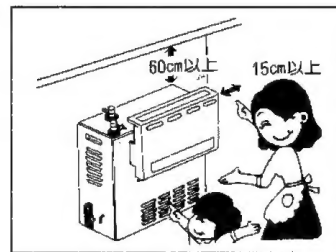
使用ガスについてのご注意

● ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

● ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

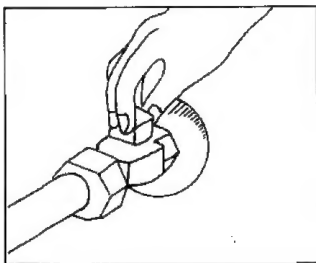
● 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用場所についてのご注意

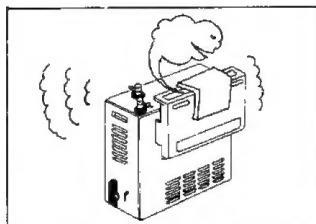
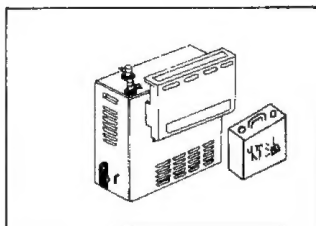
● 壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。

使用上のご注意

ガス漏れ予防

- 器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ず元せんをしめてください。

- 使用後は必ず器具せんを閉じ、消火したことを確かめてください。
- 使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。

火災予防

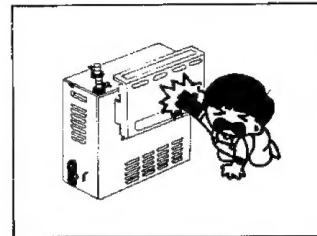
- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、揮発油など)を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。

- 排気部の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
  不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。

過熱防止

- 浴そうに水が入っていることを確かめてから点火してください。

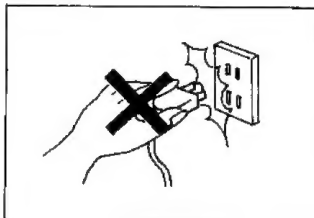
- 浴そうの循環口はタオルなどでふさがないでください。

やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。

ガス事故防止

● ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップに連絡してください。

ご注意

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等) 火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

凍結についてのご注意

厳寒期には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、給湯せんから水を流し放しにするか、器具の中の水を抜くなどして凍結を防止してください。

(器具の中の水を抜く方法については、12ページを参照)

● 凍結したときは

①器具や配管が、破損し、高額の修理費がかかる場合があります。

②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。
凍結した水が溶けた後、水もれがないのをご確認の上ご使用ください。

健浴剤や洗剤についてのご注意

● 硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。

異常時の処置

● ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具せん、ガス元せん閉止）して十分な点検をお願いします。

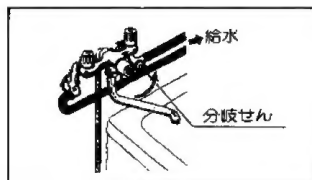
〔故障・異常の見分け方と処置方法については17ページをお読みください〕

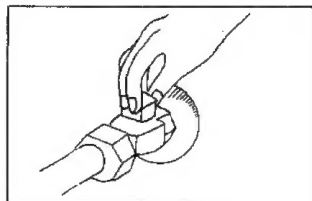
日常の点検・手入れ

● 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。(詳しくは16ページをお読みください)

● 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

● 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

使 用 手 順

(1)点火前の準備と確認

混合水せんの分岐せん（給水元せん）をあけてください。
また、器具本体のエアーチャージせん（2カ所）が確実にしまっているか確認してください。

(2)パイロットの点火

①ガスの元せんを開けてください。

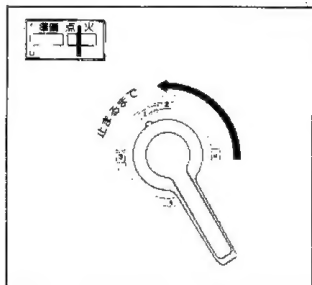
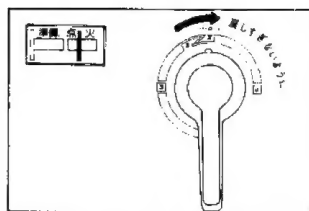
②リモコンハンドルを「止」から「1」へ止まるまで、ゆっくり確実に回し、そのままメータの針が「点火」の位置にくるまで待ってください。

（ご注意）

※ハンドルは必ず止まるまで十分に回し切ってください。回し切らない場合にはパイロットがつかない場合があります。
（表示の「1」と止まる所が多少ずれることがありますのでご注意ください。）

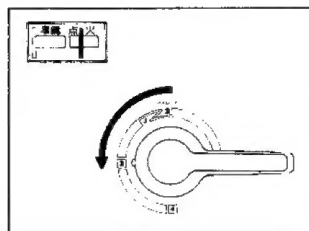
※メータの針が全く振れない場合はもう一度、上記の操作を繰り返してください。

※メータの針が「点火」の位置にくる前にリモコンハンドルを「2」に戻したりしますとパイロットが消えてしまいます。

はじめて使用される場合はゴム管等に空気が溜っていますので、一回で点火しない場合があります。この時はパイロットが点火するまで（メータの針が振れるまで）上記の操作を繰り返してください。

使 用 手 順 ②

③メータの針が「点火」の位置にきたら、リモコンハンドルを「2」の位置に戻してください。

（ご注意）

※「2」より「止」の方に戻しすぎないようにしてください。パイロットが消えてしまいます。

給湯方法（給湯は浴槽内に水が入っていなくても使えます。）

本火（メーンバーナー）着火

①パイロット点火後、リモコンハンドルを「2」から「3」へ止まるまで回すと給湯準備完了です。

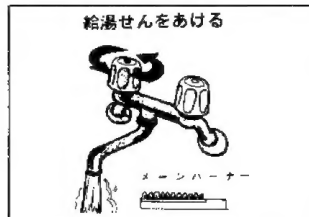
②お湯を使いたい所の給湯せんを開ければ、本火に着火してお湯が出てきます。使用後、給湯せんを閉じれば自動的に本火は消えます。

（ご注意）

使用後は必ず給湯せんは完全に閉めてお湯の出を止めてください。

※混合水せん、シャワーを使用中、他の給水せんをあけると給湯温度が高くなることがありますのでご注意ください。

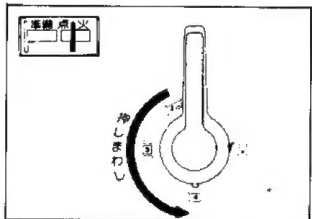
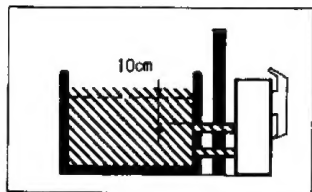
能 力 切 替

夏場は水温自体が高く標準の発熱量で燃焼させるとシャワー・台所で使用しにくいことがありますので器具フロントカバー下部の能力切替レバーを「小」に切り替えてください。
能力は、大と小の文字の位置までまわすと、切り替えができます。
大と小の間では絶対に使用しないでください。

使 用 手 順 ③

（注意）

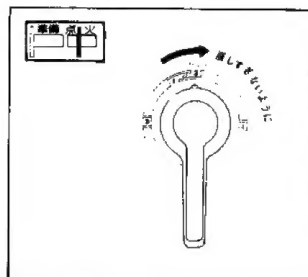
- 湯側つまみを絞れば熱い湯、開ければぬるい湯となります。
  絞り過ぎると（流量が約３ℓ/分以下になると)本火が消火しますので注意してください。
- シャワーヘッドにゴミ等が詰った場合には、シャワー使用中にお湯が出にくくなったり、本火に火がつかない時があります。
  このような場合には、シャワー吐出口（散水板）を取り外して掃除してください。
- シャワーでは高温出湯しないでください。シャワーヘッドに悪影響をおよぼす場合があります。
- シャワーホースは折り曲げてご使用にならないよう注意してください。
- 冬期、浴槽に８℃の水がある場合は、5.3 号の能力となりますので、適温では水量3.5ℓ/分程度のシャワーしかえられません。
- 冬期十分なシャワーがえられないことがあります。

お風呂を沸かす場合

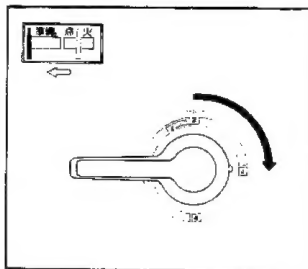
空だき安全装置がついていますが、点火のまえに浴そうに水が十分満たされていることを確認してください。

浴そうの排水せんは水漏れのないようしっかり差し込んでください。
浴そう内の水面が上部循環口の上より10cm以上になるまで給水してください。

●本火（メーンバーナー）着火

リモコンハンドルを「２」から「３」へ回し、更に「３」から「４」へ押し回すと本火に着火し、風呂が沸きはじめます。
風呂を沸かしながら、浴槽内の湯を撹拌すると異音を発生することがありますが、その場合には撹拌をやめるか一度本火を消して撹拌してください。
シャワー・給湯を長く使用すると浴槽表面のお湯があつくなりますので、湯を撹拌してからお入りください。

使 用 手 順 ④

●本火（メーンバーナー）消火

お湯が適温になればリモコンハンドルを「２」の位置に戻してください。この位置ではパイロットのみ点火しておりメータの針も「点火」の位置を指したままですので、追いだきの場合はリモコンハンドルを「２」から「３」へ回し、更に「３」から「４」に押し回せば本火に着火します。

ご使用後

●パイロットの消火

就寝前や、長時間使用しない場合は、必ずリモコンハンドルを「止」の位置まで戻して、ガスの元せん、給水元せんを閉じてください。
この器具には凍結を防止するため低温作動弁を設けています。冬期冷えこみが厳しく凍結のおそれのある時は給水元せんを開けておいてください。
閉じると、低温作動弁が働かず器具が破損しますのでご注意ください。

冬期の凍結による湯沸器の破損防止について

冬期は暖かい地域でも給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起ることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をしてください。

(1)通水方法（断水時には効果がありません）

「この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結も防止できます。」

①ガスの元せんをしめます。

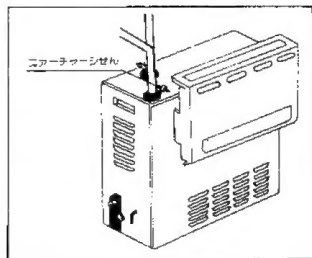
②リモコンハンドルを「3」の位置にします。

③お風呂場の給湯せんをあけ、1分間に約200cc(牛乳ビン1本ぐらい)(特に寒い日は多目に)を浴槽に流し込んでください。

※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。水を浴槽に流し込み、翌日雑用水としてご利用ください。

（一晩で浴そう一杯程度になります）

(2)水抜き方法

「入居前や長期不在の場合にも行なってください。」

①ガス元せんをしめます。

②リモコンハンドルを「止」の位置にします。

③混合水せんの分岐水せん(給水元せん)をしめます。

④エアーチャージせん(2カ所)をひらきます。

エアーチャージせんは次にお使いになるまであけたままにしておきます。

水抜き後、初めて使われるときは、エアーチャージせんをしめ、混合水せんの分岐水せん(給水元せん)をひらき、給湯せんから水が流れるのを確かめてください。

(3)低温作動弁

凍結による器具の破損を防止するために低温作動弁を組付けてあります。
この装置は外気温が極度に低くなると作動し、自動的に水が出始め器具の内部を通水することにより、凍結を未然に防止するというしくみのものです。
この装置の機能を発揮させる為に次のことをお守りください。

①冬期、冷えこみが厳しく凍結のおそれのある日には、混合水せんの分岐水せん(給水元せん)をあけておいてください。

※混合水せんの分岐水せん(給水元せん)をしめますと低温作動弁が作動せず、器具が凍結により破損することがあります。

※低温作動弁は給湯パイプ側にあります。

②低温作動弁から噴き出した水が床面、壁面を濡らすことのないよう、必ず排水処理をしてご使用ください。

凍結したとき

①湯沸器や配管が破損しますと高額の修理費がかかる場合があります。（有償）

②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
凍結したまま使われますと、湯沸器に異常が生じる場合があります。

③再使用の場合は、全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、8ページ「使用手順」の項以下の操作を行なってください。

使用時のご注意

(1)安全装置が作動したときの処置方法

■パイロット安全装置

●使用中に万一、パイロットバーナーの炎が消えたときには、自動的にガスを止めてしまい、メーンバーナーも消えてしまいますので、そのままでは使用できません。

●パイロットバーナー、又はメーンバーナーの消火（点火確認メータの針が準備の位置に戻っている）に気づいたときは、すぐにリモコンハンドルを「止」の位置に戻してください。

〔注意〕

再度点火されるときは器具内に残ったガスが排出されるまで、2～3分待ってから点火操作を行なってください。

■空だき安全装置

●万一、ふろがまを空だきしたときは、かまの温度上昇をキャッチして、自動的にガスを止めてしまい、バーナーの火を消して事故を防止します。

リモコンハンドルを「止」にもどして15分以上待って（水位を確かめて）から再点火してください。

●うっかり、メーンバーナーを消し忘れてお湯が沸騰状態になったときも空だき安全装置が作動することがあります。

■過圧逃し弁（残火安全装置）

●万一、熱交換器内の圧力が異常に上昇した場合、逃し弁が働き内圧を下げます。

●この装置が働くと器具の診断が必要ですから、お買い上げの店、またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

■過熱防止装置（温度ヒューズ）

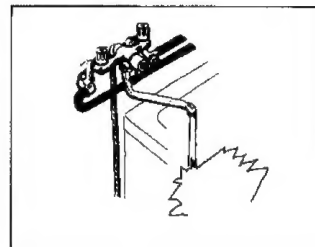
●使用中に器具に異常が生じ器具内の温度が異常に上昇したとき、装置が働きガス通路を閉じてメーンバーナー、パイロットバーナーの炎が消えます。

●この装置が働くと、部品交換をしないと使用できませんのでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

使用時のご注意②

使用時の一般的な注意事項

●あと沸きについて

継続してお使いになるとき、最初に出るお湯は特に熱くなることがありますので、少し出してから、手をふれるようにしてください。

●給湯せんから水を出しながらの点火操作は危険ですからおやめください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。
- 安全装置及びガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

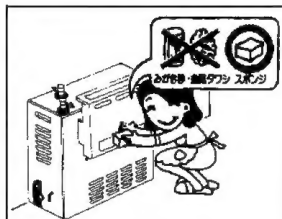
点　検

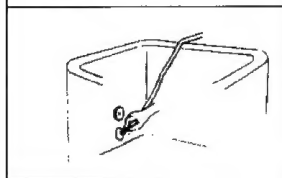
- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいてはいませんか。

お手入れ

ときどき

- 外装の掃除

やわらかい布に中性洗剤をひたし、軽く拭いてください。
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。）

- 熱交換器内の掃除

循環口へ水道のホースの先をつまんで勢いよく水を吹きつけてください。
上・下交互に水洗いしてください。

故障異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原因＼現象	点火しない	パイロットバーナー：「2」にリモコンハンドルを戻すと消える	パイロットバーナー：消火しやすい	メーンバーナー：着火（火移り）しにくい・しない	メーンバーナー：使用中に消火する	メーンバーナー：炎が安定しない	メーンバーナー：赤火で燃える	メーンバーナー：ガスの臭いがする	高温のお湯が出ない	あつい湯しか出ない	使用中に湯温が変動する	かま鳴りがする	沸きあがりが遅い	処置方法	参照ページ
ガス元せんの開き忘れ	○													ガス元せんを全開にする	8
ガス元せんの開き不足	○	○	○	○		○			○				○	ガス元せんを全開にする	8
ガス配管中に空気が残っている	○													空気が抜けるまで、しばらく点火操作をする	8
ノズルつまり	○													※	
くもの巣で燃焼管内がつまっている	○			○		○	○	○					○	※	
器具せんの故障	○													※	
リモコンハンドルのまわし不足		○		○		○	○		○					止まるところまでまわす	8
リモコンハンドルの保持不足		○												メータの針が「点火」の位置にくるまでまつ	8
パイロット安全装置の故障		○												※	
安全装置の作動：パイロット安全装置の作動					○									※	
安全装置の作動：空焚安全装置の作動		○			○									※	
安全装置の作動：過熱防止装置の作動					○									※	
安全装置の作動：残火安全装置の作動	○				○									※	
バーナー炎口づまり						○	○	○						※	
排気部のつまり							○	○						排気部を掃除する	4
連絡パイプ取り付不良												○			
浴そう水量が多すぎる													○	「能力表」通りの水量で使用する	
浴そう水量が少ない												○		上部循環口より10cm以上水を入れる	10
風呂釜が水没した	○					○	○	○						※	
ガス圧が適切でない				○		○	○	○	○	○				※	
水圧が低すぎる				○						○				※	
他の水せんの使用による水圧変動											○			※	
水ガバナの故障									○	○	○			※	
泡沫水せんのつまり				○						○				掃除する	
シャワー吐出口（散水板）のつまり				○						○				掃除する	
給水部フィルターのゴミつまり				○						○				掃除する	
通水部のゴミつまり				○						○				※	
給水元せんの開き忘れ				○										給水元せんを全開する	8

処置や原因のわからないときは、ただちにお買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間使用しない場合

冬期、長期間に渡って使用しない場合は、器具の水抜きを行なってください。

（器具の中の水を抜く方法については12ページをお読みください）

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 17ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認下さい。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

　① 品　名……（ガス給湯機能付ふろがま）

　② 品　番……ガス接続口の近くに貼付してあります。

（例）

(4) 31 010 (U)
大阪ガス株式会社　05

　③ 現　象……（できるだけ詳しく）

　④ 道　順……（できるだけ詳しく）

転居される場合

- **ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。**

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。

この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- **この器具には保証書がついています。**

このガス給湯機能付ふろがまは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

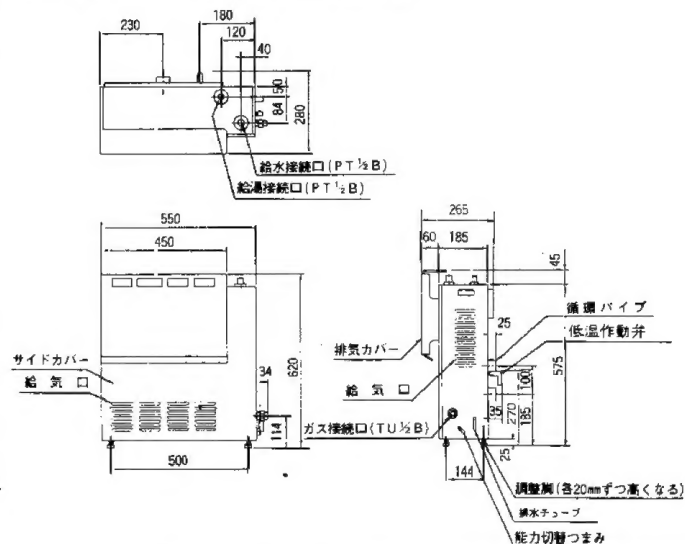
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　長

1 年間を通じて洗髪、上り湯に使用できる6号シャワー機能付風呂釜です。

2 セミ外だき釜の置きかえに最適な壁からの出っ張りの少ない薄型設計。（狭いところでの施工もＯＫ）（釜幅は265mm）

3 屋外据置タイプと壁掛けタイプ（ワンタッチ取付け金具－別売）のどちらでも設置が可能です。

4 分岐水栓付低水量タイプのシャワーセットとの組み合せで既築でも容易にシャワーが設置できます。

寸法図と仕様一覧表

仕　様　一　覧　表

項目 ＼ 種別		31－010、31－011 型			
		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	ＬＰガス
最大ガス消費量 m³/h	給　湯	2.89	1.18	1.86	1.08(kg/h)
	風　呂	2.22	0.91	1.43	0.83(kg/h)
外形寸法（mm）		高さ620 ×幅550 ×奥行265			
重量（kg）		21			
接続	ガ　ス	TU1/2B			
	給　水	PT1/2B			
	給　湯	PT1/2B			
点火方式		圧電式点火			
安全装置		パイロット安全装置、空だき安全装置 過熱防止装置、過圧逃し弁（残火安全装置）			

本製品と快適なくらしのために

清潔なシャワーで爽快に！

夏場はシャワーで汗を流せます。そしてお風呂からの上り湯も、清潔なお湯で気分さわやかに。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開してから（火気に注意して）大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (652) 0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39－6	☎高槻 0728(71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29の1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775(62) 5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町9番41号	☎彦根 0749(22) 3131
（長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2) 7171）

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

大阪ガス株式会社

83.06.(00)